



電話 82-0076
 ファクス 82-0110
 s0150@town.nichinan.lg.jp
 Vol. 153



第5回ふれあい人権講座

「歩んできた人生と人権意識」

講師 後藤厚見さん(上石見)

10月期は人権擁護委員、町男女共同参画推進委員をお務めの後藤さんのお話を聴きました。これまでの人生での出来事、節目の実体験から人権意識を培われ大切さを学んで来られました。高度経済成長期、バブル経済崩壊後のリストラの嵐が吹き荒れる時代を職業人として過ごされ、転勤の中で、自由闊達でやりがい満ちた職場と、逆に重苦しい風土の職場の両方を見てこられました。厳しいパワーハラに苦しんだ時期には、考え方を百八十度変えることで傷みから解放されたとのこと。退職、Uター

ン後は、農業をしながら多様な仕事も経験されました。特に日野高校の学生と関わった仕事は印象深いそうです。ご両親の介護、やむを得ず始めた料理や家事から、女性に押し付けられる家事労働の苦勞を身を持って知り、パートナーへの敬意と男女共同参画の重要性を認識されたそうです。「園芸福祉士」の資格を取得し、介護施設を花で彩る活動をはじめとして「持ち前の好奇心から」実に多様な社会貢献や趣味に取り組んでおられます。人生を通して心豊かに精一杯生きること。見習いたいですね。

第6回ふれあい人権講座

「幸せってなんだろう」

「世界でいちばん貧しい大統領の言葉から考えてみる」

広報11月号で紹介した元ウルグアイ大統領ムヒカさんの国連会議での有名なスピーチ動画をご覧ください。ただで、ムヒカさんの言う「幸せ」のお話をしました。
 ムヒカさんは過剰な消費が前提の経済システムの暴走が、人間の

欲望を煽り、悪循環に陥って人間を不幸にしている、と訴えます。大規模気候変動の危機も、この物を燃料とする仕組みが原因であると。ムヒカさんの言う「幸せ」は、和風に言えば「吾、ただ、足るを知る」です。古来、哲学、宗教で無限の欲望が生之苦しみの根源とされます。難しいですが、過剰な欲望を捨てるのが「人が幸せに生きる権利(人権)」をくれ、地球環境を守る第一歩かもしれません。

日野高等学校でお話しました

「ネット社会の人権」

「次世代を生きるみなさんへ」

日野高校の2年生の皆さんに、インターネットが網羅された今の社会で起こっている人権問題についてお話ししました。

インターネットが、世の中の仕組みの全てを変えています。有用で誰にとっても便利なもの。でもそうした光の裏には深い闇があります。いじめや犯罪の道具に使われているのは周知ですが、人工知

能が先回りして偏った情報ばかりを提供したり、未成熟なネット番組が検証のない情報を垂れ流していたり。特に若年層には「洗脳」の危険を感じます。ネットの光と影を見抜く力を持つてほしいと思います。

12月の人権相談・行政相談

日時 12月10日(金)

午前9時〜12時

会場 子育て支援センター

☆予約は不要で秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。

第73回

人権週間 12月4日〜10日
12月10日は人権デーです。

「誰か」のことじゃない。

昭和23年、国連総会で世界人権宣言が採択されたことを記念する期間です。自身のこととして人権の大切さを振り返りましょう。



